



2024年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月9日

上場会社名 株式会社クリエイティブSDホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3148 URL <http://www.createsdhd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣瀬泰三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 山崎哲也 (TEL) 045 (914) 8241
 四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 2024年2月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第2四半期の連結業績(2023年6月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第2四半期	207,451	10.7	9,852	6.7	10,191	7.8	6,875	7.2
2023年5月期第2四半期	187,392	7.8	9,235	4.4	9,451	4.0	6,412	4.0

(注) 包括利益 2024年5月期第2四半期 6,876百万円(6.9%) 2023年5月期第2四半期 6,432百万円(4.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第2四半期	108.76	102.90
2023年5月期第2四半期	101.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第2四半期	203,023	121,607	59.9
2023年5月期	194,941	116,409	59.7

(参考) 自己資本 2024年5月期第2四半期 121,578百万円 2023年5月期 116,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	25.00	—	27.00	52.00
2024年5月期	—	27.00			
2024年5月期(予想)			—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日~2024年5月31日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	404,100	6.1	19,240	1.7	19,800	1.9	13,000	0.6	205.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年5月期2Q	66,819,342株	2023年5月期	66,819,342株
2024年5月期2Q	3,600,857株	2023年5月期	3,600,857株
2024年5月期2Q	63,218,485株	2023年5月期2Q	63,218,553株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年6月1日～2023年11月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い経済活動の回復が進む一方、原材料価格・エネルギー価格の高止まりや、物価上昇による消費マインドの低下等、先行き不透明な状況が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、行動規制緩和に伴う化粧品需要の増加や、風邪及びインフルエンザの流行による医薬品需要の増加が見られた一方、新型コロナウイルス感染対策商材の需要縮小や、物価上昇に伴う消費者の節約志向の高まり、診療報酬及び薬価改定による処方箋単価の減少、業種・業態の垣根を超えた競合各社の出店や価格競争の激化など、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画の達成に向けて、調剤併設型ドラッグストアを中心とした既存エリアのドミナント強化を継続しつつ、「生活・予防・医療・介護」の各領域において地域に貢献する総合ヘルスケアサポートを推進しております。

<ドラッグストア事業>

原材料価格・エネルギー価格の高止まり等により、消費者の生活費負担及び節約志向が一段と高まりを見せる中、当社グループは、地域のお客様・患者様の健康と生活を支えるライフラインとして、いつ来てもお求めやすい価格で提供するEDLP(エブリデイ・ロープライス)施策を継続推進してまいりました。また、ワンストップ・ショートタイムショッピングの実現を目指し、調剤薬局の併設や、生鮮食品を始めとした食品の品揃え強化を推進し、小商圏における利便性及び専門性の向上に引き続き取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染対策商材の需要減が見られた一方、総合感冒薬や化粧品需要の増加、前期に引き続き生活必需品を始めとしたEDLP施策が奏功したこと等により、既存店売上・客数は堅調に推移しました。調剤部門においては、診療報酬及び薬価改定の影響があったものの、調剤薬局の併設推進および対人業務の強化に取り組んだ結果、処方箋応需枚数は堅調に推移しました。その結果、売上高・利益は前年同期・計画を上回り、増収・増益となりました。

ドラッグストアの新規出店につきましては、16店舗の出店を行いました。一方で契約期間満了により2店舗、経営効率化の観点から1店舗の計3店舗閉鎖を行いました。調剤薬局の新規出店につきましては、ドラッグストアへの併設調剤薬局を18店舗、医療モール併設の調剤専門薬局を1店舗開局いたしました。

<スーパーマーケット事業>

ドラッグストア複合のゆりストア店内で加工した惣菜や精肉を、近隣のグループ内ドラッグストアへ配送し販売する取り組みを進めるなど、ドラッグストア事業とのシナジー創出に向けて、小商圏における利便性向上にグループとして取り組んでまいりました。当第2四半期連結会計期間末の店舗数は前期末と変わらず食品スーパー2店舗(うち1店舗は建替えにより休業中)、ドラッグストア複合の生鮮食品専門店3店舗となりました。

<介護事業>

高齢化が進む中、介護スタッフのもと安心・安全に生活したいという高齢者の方のために、美味しい食事が特徴の介護付有料老人ホームを2施設、またいつまでもご自宅で暮らしたいという方のために、リハビリを専門とする半日型のデイサービスセンター37施設を運営しております。有料老人ホーム、デイサービスとも、当社グループの特徴である接遇に力を入れ、ご利用者様の満足度向上及び稼働率の向上を図ってまいりました。

以上により、当第2四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数はドラッグストア730店舗、調剤薬局は調剤専門薬局37店舗、ドラッグストアへの併設調剤薬局352店舗の合計389店舗となり、スーパーマーケット事業は食品スーパー2店舗、ドラッグストア複合の生鮮食品専門店3店舗、介護事業では介護付有料老人ホーム2施設、半日型デイサービスセンター37施設となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高207,451百万円(前年同期比10.7%増)、営業利益は9,852百万円(前年同期比6.7%増)、経常利益は10,191百万円(前年同期比7.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,875百万円(前年同期比7.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は203,023百万円となり、前連結会計年度末に比べて8,081百万円増加いたしました。主な要因は、売掛金が632百万円、商品が1,534百万円、固定資産が9,566百万円増加し、現金及び預金が3,487百万円減少したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は81,415百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,883百万円増加いたしました。主な要因は、買掛金が1,461百万円、未払法人税等が152百万円、流動負債「その他」に含まれる未払金が350百万円、未払費用が369百万円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は121,607百万円となり、前連結会計年度末に比べて5,198百万円増加いたしました。主な要因は、配当金支払いが1,706百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益6,875百万円を計上したことなどによるものです。

(キャッシュフローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は33,638百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,487百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は9,843百万円(前年同期比1,595百万円の収入増)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益10,163百万円、減価償却費2,272百万円、法人税等の還付額832百万円、棚卸資産の増加1,563百万円、仕入債務の増加1,461百万円及び法人税等の支払額4,257百万円等の結果であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は11,646百万円(前年同期比366百万円の支出減)となりました。これは主に出店に伴う有形固定資産の取得による支出6,416百万円及び出店仮勘定による支出5,442百万円等の結果であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,684百万円(前年同期比229百万円の支出増)となりました。これは配当金の支払1,706百万円等の結果であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の連結業績予想につきましては、現時点では2023年7月10日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,526	34,038
売掛金	13,312	13,945
商品	38,497	40,031
その他	10,295	10,133
流動資産合計	99,631	98,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,762	31,487
土地	25,211	25,464
その他（純額）	4,858	8,036
有形固定資産合計	57,832	64,988
無形固定資産		
のれん	473	413
その他	1,055	886
無形固定資産合計	1,529	1,299
投資その他の資産		
長期貸付金	9,654	9,902
敷金及び保証金	11,576	11,680
その他	14,759	17,042
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	35,948	38,585
固定資産合計	95,310	104,874
資産合計	194,941	203,023
負債の部		
流動負債		
買掛金	50,485	51,947
未払法人税等	3,386	3,539
賞与引当金	378	341
役員賞与引当金	145	78
ポイント引当金	171	160
資産除去債務	89	76
店舗閉鎖損失引当金	8	—
その他	15,487	16,521
流動負債合計	70,152	72,666
固定負債		
退職給付に係る負債	3,310	3,464
資産除去債務	3,579	3,758
転貸損失引当金	30	27
その他	1,459	1,498
固定負債合計	8,379	8,749
負債合計	78,532	81,415

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	934	934
利益剰余金	118,741	123,910
自己株式	△4,393	△4,393
株主資本合計	116,282	121,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	43
退職給付に係る調整累計額	87	83
その他の包括利益累計額合計	126	127
新株予約権	—	29
純資産合計	116,409	121,607
負債純資産合計	194,941	203,023

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
売上高	187,392	207,451
売上原価	136,402	153,485
売上総利益	50,989	53,965
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	173	160
給料及び手当	17,009	17,893
賞与引当金繰入額	289	309
役員賞与引当金繰入額	68	74
退職給付費用	406	384
減価償却費	1,962	2,198
地代家賃	8,243	8,567
その他	13,601	14,525
販売費及び一般管理費合計	41,754	44,113
営業利益	9,235	9,852
営業外収益		
受取利息	44	42
受取配当金	0	0
固定資産受贈益	18	12
受取賃貸料	161	175
補助金収入	27	117
その他	76	91
営業外収益合計	329	439
営業外費用		
支払補償費	0	4
賃貸費用	83	81
その他	29	14
営業外費用合計	112	100
経常利益	9,451	10,191
特別損失		
固定資産売却損	—	26
固定資産除却損	7	1
店舗閉鎖損失	3	—
特別損失合計	10	28
税金等調整前四半期純利益	9,440	10,163
法人税等	3,028	3,287
四半期純利益	6,412	6,875
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,412	6,875

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	6,412	6,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	4
退職給付に係る調整額	14	△4
その他の包括利益合計	20	0
四半期包括利益	6,432	6,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,432	6,876
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,440	10,163
減価償却費	2,028	2,272
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△40	△36
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△72	△66
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	8	△10
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△3	△3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	209	148
受取利息及び受取配当金	△45	△43
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,321	△632
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,644	△1,563
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,864	1,461
前受金の増減額 (△は減少)	85	182
その他	904	1,394
小計	11,412	13,266
利息及び配当金の受取額	1	1
法人税等の支払額	△3,965	△4,257
法人税等の還付額	799	832
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,248	9,843
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,298	△6,416
無形固定資産の取得による支出	△118	△13
定期預金の預入による支出	△400	△400
定期預金の払戻による収入	400	400
長期貸付けによる支出	△158	△222
長期貸付金の回収による収入	497	516
敷金及び保証金の差入による支出	△21	△9
敷金及び保証金の回収による収入	74	71
長期前払費用の取得による支出	△27	△59
出店仮勘定による支出	△2,934	△5,442
供託金の預入による支出	△29	△109
その他	1	38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,013	△11,646
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,454	△1,706
その他	—	22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,454	△1,684
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,219	△3,487
現金及び現金同等物の期首残高	41,667	37,126
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,447	33,638

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(1) 販売実績

①商品部門別売上実績

当第2四半期連結累計期間における売上実績を商品部門ごとに示すと、次のとおりであります。

商品部門の名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比 (%)
ドラッグストア事業		
医薬品	54,654	107.1
O T C	30,497	99.7
調剤薬局	24,157	118.1
化粧品	24,038	107.9
食料品	86,056	117.0
日用雑貨品	30,965	107.1
その他	9,571	108.6
小 計	205,286	111.2
スーパーマーケット事業	1,012	60.2
介護事業		
有料老人ホーム	342	95.9
デイサービス	727	105.5
小 計	1,069	102.2
顧客との契約から生じる収益	207,368	110.7
その他の収益(注)	83	141.5
合 計	207,451	110.7

(注) その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入が含まれております。

②地区別売上実績

当第2四半期連結累計期間における売上実績を地区ごとに示すと、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
神奈川県	116,461	62.1	127,074	61.3
東京都	27,258	14.5	29,596	14.3
静岡県	20,529	11.0	22,880	11.0
千葉県	13,574	7.2	17,340	8.4
その他	9,569	5.1	10,558	5.1
合 計	187,392	100.0	207,451	100.0

(2) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績を商品部門ごとに示すと、次のとおりであります。

商品部門の名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比 (%)
ドラッグストア事業		
医薬品	32,468	108.6
OTC	17,574	98.0
調剤薬局	14,893	124.6
化粧品	15,140	104.7
食料品	75,470	118.4
日用雑貨品	22,459	109.4
その他	7,712	108.2
小計	153,252	112.9
スーパーマーケット事業	758	59.7
介護事業		
有料老人ホーム	—	—
デイサービス	—	—
小計	—	—
顧客との契約から生じる収益に対する仕入	154,011	112.4
その他の収益	—	—
合計	154,011	112.4